

社協だより まんのう

2017
10月発行
VOL.45



元気に選手宣誓!

～いきいきふれあいサロン
満濃地区合同運動会～

**元気ふれあい
ほつと安心**

地域で共にいきるまちづくり



この広報誌は赤い羽根共同募金の助成により作成しています。



町内各自治会で地域福祉活動の推進にご協力いただいている福祉委員さんについてご紹介します。

○福祉委員とは

【福祉委員の設置目的】

まんのう町社会福祉協議会では、住民の参加により、きめ細かく地域住民の福祉ニーズ・情報を把握し、地域福祉の推進をはかるため、福祉委員を設置しています。

【福祉委員の設置状況】 単位自治会から実情に応じて1名以上を選出
まんのう町で501名（琴南62名、満濃253名、仲南186名）

【福祉委員の役割】（福祉委員規程第2条より）

1. 集落の住民や担当民生委員等と連携し、地域福祉活動（見守り・声かけ）に努める。
2. 町社協会費および共同募金等への協力や、町社協事業に参加する。
3. その他、各地域の実情を踏まえ、目的達成に必要な活動を行う。

【福祉委員の具体的な活動】

- ① 見守り・声かけ活動により、自治会内の実情の把握と福祉課題の発見に努める
地域で支援を必要としている人などに気づき、実情を把握する。
- ② 福祉の課題・問題を関係機関へ連絡する
地域の福祉課題の情報を支援者（民生委員、町社協、行政の担当課など）に伝える。
- ③ 町社協からの福祉情報などを周知伝達し、自治会内の福祉の啓発・普及をする
福祉サービスや相談窓口などの情報を、支援を必要としている人へ伝える。
- ④ 町社協などの活動に参加・協力する
町社協会費、共同募金運動、社会福祉大会、健康・福祉まつりなど活動への参加と協力。
- ⑤ 自治会内での福祉活動を進める
福祉座談会や集いの場づくりなど、集落で必要な活動の推進に取り組む。

家族のあり方や生活スタイルの多様化など社会が変化する中で、既存の公的制度やサービスでは対応できない困りごとを抱える人が増えています。このような制度の狭間にある方を柔軟に支え、自分たちの地域を自分たちで良くするために地域の住民同士のつながりと支えあいが、求められています。

関係機関と連携し、住民の力で住み良い地域をつくっていきけるよう、普段の生活の中で得られる「気づき」を活かして地域福祉の推進にご協力ください！



身近な地域での福祉の推進を！ 各地区で福祉委員研修会開催される

琴南・満濃・仲南の各地域福祉推進委員会では、福祉委員活動を活性化し、小地域福祉活動の理解を深め民生委員さんとの連携を推進することを目的とした福祉委員研修会を開催しました。今年は、福祉委員の改選を踏まえ、福祉委員の役割や活動、共同募金運動を共通テーマに実施しました。

琴南地区 九月二十七日（琴南公民館）



研修では、町地域包括支援センターの三島輝代保健師をお招きし、認知症予防関連の講習を受けました。前半では、認知症の進行を遅らせるには、早い段階からの予防が大事ということ、頭を使いながら体を動かす「コグニサイズ」について、実技を交えて指導していただきました。後半では、「まんまんカフ

エ（認知症カフェ）」「高齢者等徘徊 SOS ネットワーク事業」など最近始まった新しい事業について学びました。地域で気になる方に気がついたら、相談窓口、その方にふさわしい様々な事業やサービスがあることを伝えてあげるのも、福祉委員さんの役割の一つです。

満濃地区 九月二十五日（満濃農村環境改善センター）



満濃地区福祉委員研修会には、福祉委員代表のほか自治会長さん、民生委員児童委員さん、満濃地域福祉推進委員の計151人の参加がありました。研修では、「民生委員活動と福祉委員活動について」、民生委員さんや

支部社協の支部長さんなどから、福祉委員への期待についてお話がありました。次に町防災アドバイザーの楠見さんをお招きし「防災と地域福祉活動について」をテーマに講話がありました。「災害に強い地域づくりは、日頃の『見守り』、『支え合い』から始まります。福祉活動に携わる皆さん、日々の地域福祉活動の中から信頼感、安心感を醸成し、地域のつながりを強め、安心で安全なまちづくりに取り組んで！」とお話でした。

仲南地区 九月二十六・二十九日（町役場仲南支所）

「仲南福祉講座」を二日間開催し、両日ともたくさんの方の福祉委員さんにご参加いただきました。

十月から始まる共同募金運動の説明や、福祉の「〇×クイズ」に参加していただき、楽しく福祉委員活動について研修し、赤い羽根共同募金運動は、どの地区でも、「じぶんの町をよくするしくみ」だと理解を深め閉会となりました。地域の要として活躍してくださる福祉委員や福祉関係者のみなさん、どうぞよろしくお願います。



介護はおまかせ 救命講習受講

8月27日(日)仲多度南部消防組合消防本部にて普通救命講習を受講しました。

この講習会は、介護職員による利用者宅訪問時、また、サロン等行事開催時において利用者及び参加者の容態が急変した場合、応急手当（救命処置）を迅速かつ適切に行えるように基礎知識及び技術を身につけることを目的に毎年実施しています。

当日は、介護福祉課・地域福祉課・総務課職員9名が参加し、仲多度南部消防署職員の方々により、応急手当の基礎知識、心肺蘇生の手順、AEDの使用手順、気道異物の除去、止血法等について解りやすく丁寧な講義・実技指導を受けました。



平成29年度 傾聴ボランティア事業

話の聴き方講座

9月22日(金)仲南支所にて、傾聴ボランティア養成講座を開催しました。

この講座は、日常的な近所づきあいの中や地域福祉活動で生かせるための傾聴技法の基礎を学ぶことを目的に開催され、まんのう町内にお住まいの地域福祉活動に関わっている方及び傾聴に関心がある住民の方23名が参加しました。

当日は、講師の四国学院大学 社会福祉学部社会福祉学科教授の島影 俊英 氏により、地域福祉活動における「話の聴き方」と題し、2人1組のペアになって演習を行い、楽しい雰囲気の中で傾聴について学ぶことができました。

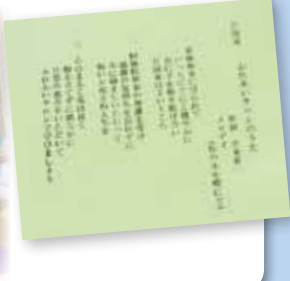


片岡東ふれあいいきいきサロン

片岡東ふれあいいきいきサロンの活動開始は、次代を遡ること25年あまり前、地区の中心に位置する薬師堂にお年寄りが、毎月15日に集まり、お茶を飲みながら世間話や農作業の出来具合など、雑談耽り。愉快的ひと時を過ごしていたことに始まったそうです。片岡東第1集会場で行う時は、薬師如来と阿弥陀如来を安置しているので、全員でお経を唱えてから、様々な活動を行っているそうです。当日サロンにお伺いした9月25日には、お月見の会という事で、元保育所所長の吉本香代子様を中心に折り紙で兎を折ったり、童謡、片岡東ふれあいサロンの歌を歌い季節の行事を楽しんでいました。又、町社協職員と一緒に地域の現状や課題について話し合いました。会員の中で最高齢者 吉本昇一様は、「こうやって地域の皆と集いお話しする事は大切で今後も続けていきたい。健康の秘訣は、ラジオ体操。無農薬の自家製野菜を使った料理。地域の皆とお話しする事」と、笑顔で答えてくれました。代表の白川年男様は、1年間の活動を通して、気軽に、誰でも自由に参加し、仲間づくりができるサロンとして運営していく為に、「遊ぶこと・食べること・学ぶこと」の3つのメニューを組み合わせ、心豊かに過ごせるようこれからも工夫して活動していきたいとの事でした。

データ

発足年	平成4年
会員数	8名
会場	片岡東第1集会場 片岡東第2集会場
開催回数	12回
会費	お賽銭



こんにちは♪

ボランティアさん

気づく・感じる・学ぶ

まんのう町立高篠小学校

よりあい荘を訪問し、お年寄りの方と交流した時の感想をご紹介します。

ぼくたちは、総合学習の時間に、お年寄りの方に喜んでもらうにはどうしたらよいかを話し合いました。そして、お年寄りが座ったまま楽しめることを考えました。すごろく、オセロ・しょうぎ、お手玉、折り紙、げき、トランプのグループに分かれて準備をしました。ぼくは、すごろくのグループに入って、まんのう町のいろいろな場所を巡るすごろくを作りました。

いよいよ、お年寄りの方と一緒にすごろくをする日が来ました。初めは少し不安だったけれど、お年寄りの方が笑ってくれてうれしかったです。勇気を出して、お年寄りの方に話しかけることができました。最後には、どのグループのお年寄りも笑顔だったので、みんなががんばって考えよかったと思いました。次は何をしようかと今、考えています。

高篠小学校 五年 玉野井 勇人



福祉についてのお話の会 受付中!!

町社協では、職員が常会など集落の会合へ出向いて地域福祉について説明したり、懇談をしたりする出前講座を実施しています。

ご希望するテーマを決めていただいて社協まで申し込みください。

内 容

- ① 小地域サロン活動について
- ② 見守り声かけほっと安心事業について
- ③ 社協の組織・財源について
- ④ 生活に困った時の支援について
- ⑤ 介護保険について

※希望するテーマがない場合でもお気軽に問い合わせください。

※開催の2週間前までには、お申し込みください。



▲平野自治会



▲荒神自治会

学習者募集 11月開講

第21期 脳の健康教室

まんのう寺子屋

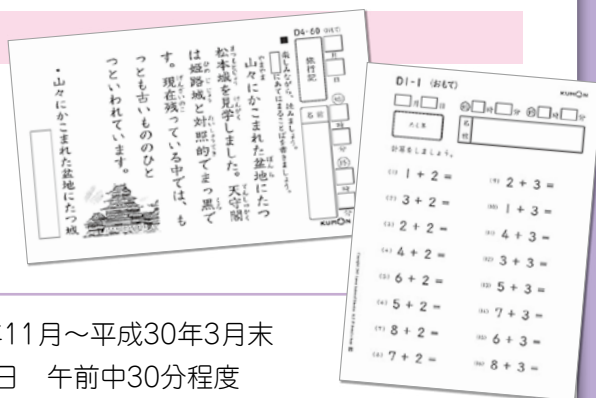
こんな教室です

- 週1回 30分の読み・書き・計算
- 学習前には、仲間とお茶を飲みながらおしゃべり
- 教室のない日も毎日10分くらいの宿題を渡します。
- 人前で発表・順番がつくことなどはありません。

友達もたくさん
できるよ!

小学生のころを
思い出す

字を書くって
いいですね。



- ◆開催日 平成29年11月～平成30年3月末
毎週火曜日 午前中30分程度
- ◆入校式 平成29年11月7日(火) 10時～11時30分
- ◆対象者 まんのう町在住の介護を必要としない65歳以上の方
- ◆内 容 30分の読み・書き・計算、サポーターや学習者との会話をします。教室のない日も毎日10分くらいの宿題を渡します。
- ◆会 場 吉野公民館 ◆参加費 毎月1600円 ◆定員18名
- ◆お申込み・お問い合わせ 社協地域福祉課

サポーターさん(ボランティア)募集してます。お問い合わせ先:地域福祉課へ!!

つどいの み3ば ひまわり通信

ひまわりデーター (4~9月末)

「ひまわり」登録数	55組
一時預かり登録者数	0組
利用者数	保護者延べ 640人
	子ども延べ 708人
職員・ボランティア等延べ	468人



7月7日 セタまつり



7月~8月
水遊び



7月21日 歯科相談



米粉のポンデケーキ
手作りおやつ



豆乳パンナコッタ



7月28日
サマースクール
小学生のお姉ちゃん
と遊んだよ!



9月4日
満濃荘交流



9月25日 ひまわり運動会



よくがんばりました!



キックでドミノ!!



上手にできるかな?



大玉ころがし ● ○



善意の寄付

皆様からの善意のご寄付は地域福祉に有効活用させていただいております。本誌をもって改めて厚くお礼申し上げます。

平成29年7月1日から平成29年9月30日分

イラスト 山本恭子さん

個人

中通 山口 博幸
炭所西 岡坂 一男

吉野 石崎 正則
中通 山下 忍

(敬称略・順不同)

寄付金の税額控除について

本会への寄付金は所得税及び住民税の控除対象になっています。
寄付金控除の適用を受けるには、寄付の際に交付した領収書を添付して確定申告を行ってください。

平成29年度

まんのう町 見守り・声かけ・ほっと安心事業研修会開催

日時 11月27日(月) 13:30～15:00
場所 まんのう町役場仲南支所 2階 大会議室
講師 四国学院大学 准教授 羅 佳 先生

だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、住民が主体となって取り組む地域福祉を今一度考えてみましょう！

参加申込締め切り 11月10日(金)
まんのう町社会福祉協議会
TEL 0877 (77) 2991
FAX 0877 (77) 2992



ふれあいネットワーク



社会福祉法人 まんのう町社会福祉協議会

〒769-0313 香川県仲多度郡まんのう町生間 415 番地 1 [役場仲南支所内]
☎ 0877-77-2991 FAX0877-77-2992 E-mail: manno-syakyo@mg.pikara.ne.jp

<http://www.manno-syakyo.jp/>